

# 公立大学法人大阪府立大学 平成27事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会  
(事務局 大阪府財務部行政改革課)

公立大学法人大阪府立大学の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会による評価を受けることとなっており、平成28年8月31日に開催された平成28年度第5回評価委員会において、平成27事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

**全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」**

○大項目について、5項目すべてがA評価（計画どおり進捗）であり、教育研究等の質の向上についても計画どおり進捗していることを確認した。

○委員会コメント

地域貢献の取組みの中で、社会に貢献する優秀な人材を育成・輩出していることは評価できる。引き続き、教育研究水準の維持・向上のため、自主財源の確保に努めるとともに、若手教員の採用・育成に注力し、教員の年齢分布への配慮や適正配置の維持を図るなど、組織の活性化に取り組みたい。また、地域防災の推進に貢献するため、大規模災害や事故の発生時に備え、現実を見据えた危機管理体制の充実に向け継続して注力されることを期待する。さらに、今後は、こうした様々な取組みの成果についての積極的な情報発信にも努められたい。

大項目	評価	主な判断理由・特記事項
教育研究等の 質の向上	「計画どおり」進捗していることを確認	企業をはじめ諸機関と連携し、リーディング大学院やグローバルアントレプレナー育成促進事業（EDGE）などにおいて、イノベーションに長けた人材の育成に不可欠な実学の場の設定を積極的に行っていることが認められるほか、部局を超えて教育を行う仕組みの整備が進められ、平成28年度から大学院共通教育科目を開設することを決定するなど、大学院の教育プログラムの面での進捗が認められる。
	「地域貢献」及び「国際化」の項目はA評価に該当	地域貢献について、大学・工業高等専門学校ともに、公開講座や出前授業について年度計画を上回る件数で実施しており、その内容も高度で充実したものであると認められる。諸機関との連携について、新たに羽曳野市との包括連携協定を締結するなど、自治体等との連携の拡大を着実に推進していることは評価できる。国際化について、外国人招へい教員事業の実施や国際交流会館の開設など、海外からの教員、学生の受入れ態勢の充実に取り組んでいることに加え、「大阪府立大学グローバル化戦略」を策定するなど、さらなるグローバル化を進めていることは評価できる。また、工業高等専門学校の地域貢献について、ワガヤネヤガワ・ベンチャービジネスコンテストに学生が応募し、4部門すべてで入賞し、商業部門賞を受賞したことは評価できる。
業務運営の 改善及び効率化	S <b>A</b> B C D	すべての項目において、計画どおりの進捗が認められる。
財務内容の改善	S <b>A</b> B C D	教員削減については年度計画を予定どおり実施できなかったものの、経営努力により支出削減が実現できており、全体として成果が認められる。
自己点検・評価及び 当該状況に係る 情報の提供	S <b>A</b> B C D	記者懇談会を開始するなど、認知度向上とブランド力の強化に取り組んだ。
その他の業務運営	S <b>A</b> B C D	全体として計画どおりの進捗が認められる。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり  
 ※「教育研究等の質の向上」（「地域貢献等に関する項目」及び「国際化に関する項目」を除く）については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、進捗状況の確認にとどめた。